

久保 重教授略歴・著作目録

明治四十一年十月八日 大阪市東淀川区豊里町に生まれる

大正 十年 四月 大阪府立清水谷高等学校入学

大正 十五年 三月 同校卒業

昭和 元 年 四月 樟蔭女子専門学校本科国文科入学

昭和 四 年 三月 同校同科卒業

昭和 四 年 四月 樟蔭高等女学校教諭

昭和 四 年 十月 文部省師範学校・中学校・高等女学校国語科教員無試験検定合格

昭和 十六 年 十一月 文部省高等学校高等科教員検定試験国語科合格

昭和 十八 年 四月 樟蔭女子専門学校講師

昭和 二十 年 八月 大阪府立清水谷高等学校教諭

昭和 二十 二 年 七月 大阪府立清水谷高等学校高等科教授 (大阪府)

昭和 二十 五 年 三月 願に依り職を免ぜられる

昭和 二十 五 年 四月 大阪樟蔭女子大学講師

昭和 二十 九 年 四月 大阪樟蔭女子大学助教

昭和 三十 六 年 四月 大阪樟蔭女子大学教授

昭和 四十 三 年 四月 大阪樟蔭女子大学教授 (専任)

昭和 四十 五 年 十月 文学博士の学位を授与される (関西学院大学) [学位論文「源氏物語の世界」]

昭和 四 十 八 年 三月 停年退職

昭和 四 十 八 年 四月 大阪樟蔭女子大学非常勤講師

著 作 目 録

雑誌論文

青表紙の表現について	樟蔭 文学	昭和年・月	宿木の巻の草子地について	大阪樟蔭女子 大学論集	12号	50・2
青表紙本に於ける句の断続の意味について	樟蔭 文学	8号	東屋の巻の左近少将の待遇法をめぐって	樟蔭 国文学	13号	50・10
手習・夢の浮橋私見	樟蔭 国文学	11号	源氏物語に見る待遇法の一用法について	樟蔭 国文学	14号	51・9
中官の御統経の条について	樟蔭 国文学	6号	源氏物語の地の文における敬語段階の移行について	大阪樟蔭女子 大学論集	14号	52・3
源氏物語胡蝶の巻私注	樟蔭 国文学	7号	源氏物語に見える「おはします」・「おはす」についての一考察	樟蔭 国文学	15号	52・10
晩年の紫の上と東三条院詮子	樟蔭 国文学	8号	浮舟尼の環境と白詩「陵園妾」との関わりについて	大阪樟蔭女子 大学論集	15号	53・3
御法の巻私見	大阪樟蔭女子 大学論集	8号	紫の上の死をめぐって	樟蔭 国文学	16号	53・10
生の完成としての出家	樟蔭 国文学	8号	鈴虫の巻の構造についての断章	樟蔭 国文学	18号	55・12
夕霧の巻私見	樟蔭 国文学	9号	藤壺は変貌したか	樟蔭 国文学	19号	57・2
朱雀院の書簡について	大阪樟蔭女子 大学論集	9号	浮舟の死は周囲に理解されたか	樟蔭 国文学	20号	58・2
その裳をとり給ひて	樟蔭 国文学	10号	源氏物語の世界	共 進 社	54	01
浮舟の巻私見	樟蔭 国文学	11号				
八の宮の遺誠と大君						
総角の巻私見						